

2)新薬・効能追加情報

●薬価基準収載医薬品（令和2年1月22日）－新医薬品－

【2成分2品目】

内用薬

薬価 収載日	薬効分類	商品名	規格 単位	薬価(円)	包装 単位	製造販売 会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1/22	抗ウイルス化 学療法剤	ドウベイト配合錠	1錠	4,814.70	30錠[瓶、 バラ]	ヴィーブヘルスケア 販売元／グラクソ・ スミスクライン	ドルテグラビル ナトリウム/ラミ ブジン	HIV感染症	通常、成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、1回1錠（ドルテグラビルとして50mg及びラミブジンとして300mg）を食事の有無に関わらず1日1回経口投与する。	新医薬品の14日間処方日数制限対象外。 希少疾病用医薬品。
1/22	抗ウイルス化 学療法剤	ビフェルトロ錠 100mg	100mg 1錠	2,147.80	30錠[瓶、 バラ、乾燥 剤入り]	MSD	ドラビリン	HIV-1感染 症	通常、成人にはドラビリンとして100mgを1日1回経口投与する。本剤は、食事の有無にかかわらず投与できる。投与に際しては、必ず他の抗HIV薬と併用すること。	新医薬品の14日間処方日数制限対象外。 希少疾病用医薬品。

●効能・効果等の追加（令和2年1月23日付）

承認日	薬効分類	商品	成分	製造販売 会社	変更箇所（下線部分 追加、取消線部分 削除） *該当箇所のみ抜粋
1/23	抗てんかん 剤	フィコンバ錠2mg フィコンバ錠4mg	ペランパネ ル水和物	エーザイ	4.効能又は効果 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の下記発作に対する抗てんかん薬との併用療法 ○てんかん患者の 部分発作（二次性全般化発作を含む） ○他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法 6.用法及び用量 <u>〈部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合〉</u> <u>〔単剤療法〕</u> <u>通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。維持用量は1日1回4～8mgとする。</u> <u>なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高8mgまでとする。</u> <u>〔併用療法〕</u> <u>通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。</u> <u>本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。</u> <u>なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。</u> <u>通常、4歳以上12歳未満の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。</u> <u>本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。</u> <u>なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。</u> 〈参考〉（略） <u>〈強直間代発作に用いる場合〉</u> <u>〔併用療法〕</u> <u>通常、成人及び12歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後1週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。</u> <u>本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。</u> <u>なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。</u> 〈参考〉（略）